NOTICIAS DE S. PAULO
(Primeiro Diario Nipponico publicado no Brasil)
(1) No. 1.281 4a. Feira, 25 de Agosto de 1937

聖市アセンプソン街十六番地
郵函 二六五
一年 ミル
發行所 聖州新報社
發行人 香山十郎
廣告料 一段 ミル

張家口の占領は目前！
皇軍鬼神の如く進撃
要害居庸關も遂に陷つ

（東京二十四日）二十四日拂曉、萬全縣を占領した○○部隊は目下、張北保安隊を以つて城内の殘兵を掃蕩中ある、尙我軍は目下、南城西南側高地より南城に向ひ潰走中の敵を追擊中で張家口占領は目捷の間に迫つてゐる

（東京二十四日）二十三日來張家口より大同に向ひ退却中の支那軍用列車十數臺に對し我軍は二十三日午前午後にわたり數回猛烈なる爆擊を敢行し敵に甚大な損害を與へた

（居庸關二十四日）南口鎭占領後山岳戰を展開しつゝ激戰を續けてゐた那佐、藤倉兩部隊は降りしきる豪雨を物ともせず居庸關の要塞を占領し二十四日午后既に十万餘の敵兵の中を進擊、更に平綏に添ひ懷來方面に追擊しつゝあるが○○日、敵軍要塞を遂に陷落、我軍はこゝに日章旗を掲げて○○○○を確保するに至つた

（居庸關廿四日）同盟特派員發、天下三險の居庸關奪取戰は南口戰にも優る平綏線戰線に於ける最大激戰で第八十九師は居庸關の關門を扼してチャハルに於ける道路を死守すると共に兩側を連る峻々たる峻嶮に堅固なる陣地を構築數ケ月前より皇軍邀擊の體形を整へて居た、南口鎭より進擊した千田部隊は左翼奈良部隊と緊密なる連絡を取りつゝ引續き攻擊を始め砲兵隊は一齊に砲門を開いて居庸關を中心に東に連る長城線の敵陣地に向け集中砲擊を開始した、之と共に歩兵○隊は數隊に分れて文字通り鋸の齒形の峻嶮を攀じ登り山頂に敵を攻擊雨と降る手榴彈迫擊砲を物ともせず、突擊又突擊北支事變初まつて以來最初の壯烈な白兵戰を展開した一山又一山遂に居庸關を眼下に見下す志波山を占領續いて敵が要塞地と頼む第一、第二、第三の突角も數次に亘る我軍の決死突擊に遂に廿二日夕刻其の死命を制せられた、居庸關の敵は廿三日拂曉より開始された一齊射擊に脆もく北方に潰走した、難攻不落と思つた居庸關も廿三日午前六時遂に完全に我軍の占領する處となり、日章旗は關門頭に飜へつてゐる

北支方面も激戰

我四機敵二十七機と
上海・寶山上空で快戰
九機を擊墜一機に大打擊を與ふ

（東京二十四日）二十三日午前九時半頃我○○海軍航空部隊○○四機が上海寶山附近の上空千米乃至五千米の高空を警戒飛翔中カーチス、ホクボーイング等の優秀戰鬪機よりなる敵二十七機と遭遇した、敵機は少數の我機を侮り堂々三段配備の戰鬪隊型を保ちつゝ我機に襲ひかゝつて來たが我四機は機翼を並べ全速力で中央部の敵指揮機目がけて敵の編隊中に突入、此の勇猛果敢な攻擊に敵機は隊型を乱して飛散するや我機は上下から卍巴とまづ敵指揮機へ集中射擊を與へ遂に同指揮機は紅蓮の焔に包まれて墜落、續く敵機に次から次へと壯烈な攻擊を浴せ瞬く間に九機を擊墜、一機は白煙の尾をひき乍らよろめくやうに敵地に逸走、殘機はバラ〳〵に潰走してしまつた、此の空中戰鬪は全く我軍の獨特の戰鬪技術の優秀性を遺憾なく現したもので我機よく平面、立体と全く一つの機の如く協同動作をとり敵機に對しては四方より致命的集中射擊を浴せかけ遂に擊退せしめた、此の壯烈極りない戰鬪を片唾をのんで遙かに見守つてゐた我將兵は約三十分の後銀翼を輝かしつゝ悠々と再び編隊を組んで基地に戻る戰勝の我機の姿に手を振り帽子を投げて祝意を表したといふ、尙基地に戻つた我機の中一機は二十四發の彈を受け操縱他の一機は十數發の彈を受け操縱者は擦過傷を負つてゐたがとう乘者何れも元氣旺盛である

國民よ安んじて可り戰ひは長引かせぬ
―杉山陸相決意を聲明

（東京二十四日）杉山陸相は二十四日の衆議院小會派懇談會に於て平漢線によつて北上しつつある中央軍は約三十ケ師、兵數四十万にのぼつてゐる旨說明した

（東京二十三日）杉山陸相は二十三日行はれた政府と政民兩黨の懇談會席上、北支に於ける戰況の報告及び中央軍の北上の態度、これに對し我軍は万全の方略を講じつゝある旨を說明した後、左の如く帝國政府の決意を聲明した

可及的速かに事變を終局に導くことを念願として其爲には從來通り彼の出るを待つて初めて打つが如き方策は放棄し寧ろ積極的に軍事行動を起して支那をして速かに我に抗すべからざることを自覺せしめることにせる長引き策に卷き込まれる懸念の如きは毫もないから國民は安心して近き將來の成果を期待されたい

特務艦○○上海に到着
……食糧品を滿載して

（上海廿三日）上海方面に於ける支那軍の暴戾なる行動は同地在留民全般に想像以上の災禍を及ぼしてゐるが、其の慘害は銃砲彈、爆彈又は放火掠奪等直接の被害ばかりでなく更に全支那の食糧品の欠乏に襲はれて無辜の市民達を困窮せしめてゐる、帝國海軍では事變勃發以來、膺懲の火蓋を切ると同時に出來る丈、之等災害に苦しむ在住市民の救護に勉めて來たが、更に此度特務艦○○に食料を滿載して上海に特派せしめた處、昨夕上海に到着したが此救恤の手は他の在留邦人丈に止まらず第三國人は勿論のこと支那市民にも等しく配給され、上海在住各國人の感謝となつてゐる

尙日本商工會議所並びに○○紡績同業會でも上海に必要の食糧を急送することになつたも前線○兵等砲列を敷きたるを以つて益々士氣振ひ連日連夜不眠不休嚴乎として守備線を確保し敵に反擊を與へてをる、そして又民間に於ける居留民の態度は相互に救護各部署に於て我守備線の援助に努めてゐる

海軍聲明

（上海二十四日）海軍では我精鋭なる陸軍部隊が上海に上陸したので二十四日午後左の如き見解を表明した

一、八月十三日以來旬日にわたり我上海特別陸戰隊は我に十數倍する支那軍の包圍攻擊に對し黄浦江上に於ける○○艦隊よりの掩護射擊と我海軍航空部隊陣地並びに後方掩護爆擊と相俟つてよく我軍守備線を確保し今日に及べり、この間敵は屢々前線兵の增員及び入れ換へを行ひ反復執拗なる襲擊を繰返へし更に便衣隊を我警守區域内に侵入せしめ放火など我戰線の後方攪乱を策し我軍の苦心は想像に餘りあるものであり今二十四日……（電文不明）我陸軍擔當する租界警備區域内に工部局警官の○砲配備に撤退を見るに及び居留民の動搖甚しく我軍は極めて困難なる立場に置かれたる

青島の形勢
愈々重大化

（青島二十一日）中央派遣の正規兵團が公安局巡警に代つて青島市中の治安維持に當らんことを市政府に申入れ目下折衝中であるが、もし之が實施せば居留民が一名も青島に在留し得ない、それは危險に當面する譯で形勢は極めて重大化して來た

支那軍戰車
四臺を捕獲

（上海廿二日）今曉の激戰に於て月岡部隊の爲に捕獲せられた敵の戰車四台は何れも重量二噸車で歩兵砲一門機銃一門を備へ英國アーム・ストロング、ビカアズ一九三五年の精鋭車である

北支戰線
張家口を爆擊
敵軍に大打擊を與ふ

（新京廿一日）六施し、張家口兵營並に無線電信所を擊滅し其の他にも多大の損害を與へたり、我方損害なく志氣旺盛なり

（天津廿一日）駐屯軍司令部發表、平漢線方面に於て我○○部隊は昨二十日以來、良鄕城地區に北上せし有力なる敵を攻擊中にて戰況有利に進展しつゝあり

（長辛店廿一日）「カコーガン」ダリソンに陣地を構築中の支那軍歩兵約五千騎兵約五百に對する○○部隊は十九日夜半より行動を起し、折柄の豪雨に河川氾濫し、前進を妨げられたるも鈴木、小林部隊は二十日夜更第一、第二、第三の河川を突破敵前三百メートルまで前進砲兵陣地より盛んに砲銃火を浴せて敵陣地を破壞、遂に敵は數多の屍體を殘して潰走したが我軍は廿一日正午に至るも尙追擊中である

臨時議會召集
來月三日

（東京二十四日）臨時議會召集に關する詔書はけふ廿四日内閣より上奏御裁下を仰ぎ同日官報を以て左の如く公布された

詔書

朕時局ノ急務ニ關シ議會ノ協賛ヲ望ムモノナリ茲ニ帝國憲法第七條及第四十三條ニヨリ本年九月三日ヨリ以テ臨時帝國議會ヲ東京ニ召集シ五日ヲ以テ開會トナスヘキコトヲ命ス

御名御璽

各國務大臣副署

八月二十四日

（東京二十三日）政府は二十三日政民兩黨代表を招き臨時議會に臨む政府の態度を闡明、既定方針に基き擧國一致勇猛邁進、時局に對處することを申合せた

政府、政友會首腦と懇談會

（東京廿三日）時局重大化に備へ擧國一致强化を目指す政府と政友會首腦部との懇談會は廿三日夜首相官邸に開かれ政友會側より前田、島田兩代表委員杉野幹事長政府側から近衛首相以下各閣僚出席近衛首相、杉山陸相、米内海相廣田外相等より同日午后の民政黨首腦部の懇談會席上爲したと同樣事件内容と政府の決意につき說明あつた後懇談に入つたが前田、島田兩氏より今時局に對する國民の信念は完全に一致して居るのであるから政府の斷固たる決意を以つて難局打開に直進されたいと進言した

▲支那側宣傳によれば開戰以來、支那空軍は日本軍飛行機約四十台を擊墜した由

▲上海近傍の某所に昨二十三日敵前上陸を敢行した我陸軍部隊の數は英國通信社の調査によれば約六万に達したといはれる

▲ユーピー通信員の報道によれば日本軍は今回いよ〳〵多數の陸軍增援部隊が内地から到着し總數約七万五千に達したので二十四日朝來總攻擊に轉じたが、これに對し支那軍の數は大約十万と算せられる

▲ハーバス通信によれば北支にある日本軍は現在約十五万と概算されるが尙、山海關方面から日々約八千位の後續部隊が到着してゐる他、日本内地から武器軍需品を滿載した運送船が幾々塘沽に入港してゐると

▲英國の提唱にかゝる上海共同租界の中立案については日本は絶對反對の模樣に傳へらるゝが支那側は同案に大体贊成の意向であるといはれる

外電ニュース
嘘やらほんとやら

南洋へ向け
支那語で放送

（東京廿三日）日本放送協會では廿三日午後十時から一時間の南洋向け放送に十分間の支那語の放送を入れ支那本國と南洋に於ける支那民衆に對し眞相を傳へデマを一掃することとなつた

相法呼談律寄
明穗事務所
（海興の上）
R. Felippe de Oliveira, 21 - 4and. Sala 8
Tele. 2-3444 - Caixa Postal, 1907
São Paulo

Ohara Irmão & Cia
Araçatuba-Guararapes-Mirandopolis
S. Paula Souza, 224 Tel. 4-2831
São Paulo
農産物委託販賣各位の御便利を計るためコニエシメントに對して御融通致します
大原兄弟商會
聖市パウラソーザ街二二四番
電話 四-二八三一

ドンタクハ
濱岡商店
聖市セーレス街十二
郵函 九九三

生徒募集
▲連成科 三ケ月
▲短期 月日で親切、叮寧に御教授致します
▲本院は主として男女洋服裁縫の實地教授は勿論美しい造花迄御教へ致します◎…入學醫意寄宿舍の設備もあります▲家事手助手には洋裁無料教授す
公認 リンス裁縫女學校
教師 神崎梅子

安瀨
ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL-300
ARAÇATUBA, N.O.B.
安瀨商會
本店 アラサツーバ市
▲事務所、精米所、珈琲倉庫
電話五四 郵函三〇〇
支店 アグアリンパ
内外雜貨、食料品、珈琲、ファ工場
支店 ヴァルパライソ
精米所 郵函一

CASA HIRATA
Caixa Postal, 47-Promissão
御注意
信用取扱ふことは無い
賣買は現金に限る
平田商會
平田千嘉藏
プロミッソン町
電四一二
皆様!!

SENOI & CIA.
本店 ノロエステ線カンペラワング
支店 サンパウロ市街 ザ街
Telephone 1-2 ····· 4-2383
CaixaPostal 50 ····· 1141
精米所、珈琲精撰工場、イタリヤノ・プラニセイス銀行代理部
一般農産物買引・アングロ・メキシカン・ガゾリナ販賣
瀨ノ上商會
農産物賣買、農業用藥品販賣、リオグランデ米及農産物輸入販賣、農産物委託販賣
コニシメントに對し御融通致します

太陽ホテル
館主 黑岩シエ
聖市ゼネラル・コウト・デ・マガリヤンエス街六四番
◆ソロカバナ驛左へ三百米◆
◆ルス驛裏通り右へ二百米◆
◆電車筋角より五軒目◆
看板は稅金の關係上取去つて御座いますが從前通り營業致して居ります

CASA NAGAO
Compra e Vende Cereaes
BAURU'
源
味噌醬油製造元
バウルー市
長尾商店
ソロカバナ 四―三九番
日本品内外雜貨農産物仲買

成功不成功或は病氣災難、家族運不運は統而姓名に依つて左右せらる
生命哲學運命鑑定
四柱推命學運命鑑定
人相に依る吉凶運勢鑑定
手相に依る吉凶運勢鑑定
年相場上下變動期鑑定
九星天盤に依る家相鑑定
（姓名用家庭實典）
宇木田晃生翁
自宅 聖市ドトールトウマスデリーマ七五ノ八

Hotel Tukimiya
CAFELANDIA
寢心地の良い
御宿は二階建の美壯觀の
月見屋旅館
竹内商店前
館主 安原善太
産婆 安原ウメ
◆醫師の便あり
ノロエステ線カンペラランヂヤ町

病者の福音
鍼灸界の權威
鍼灸延天堂療院
元熊本縣鍼灸醫會評議員
元全縣衛生會中央鍼灸醫會幹事
鍼灸醫 田上源太郎
田上敎生
◎病者來りて其の眞價知られよ◎
パウル市

露の對支武器援助

先月末迄に飛行機三百六十二台

鐵道敷設權獲得

代償に

（東京廿二日）廿二日杉村大使（駐佛）より外務省着電によればレプブリカ紙はジェラエス署名の論説にて上海事件をめぐるソ支關係に付き左の如く論じてゐるソ聯は裏面に於ては秘かに暗躍をなしつゝあり、先月末迄に既に武器の供給は飛行機三百六十二台、戰車も一百台、大砲四百三十門、重機關銃千五百挺に達したソ聯側では武器供給專門技師派遣等の支那援助の代償として支那とシベリヤ鐵道を連絡する鐵道の施設權其他北支に於ける各種特別の權の獲得を要求するものである

上海盛場に爆彈落下

死傷二百餘名

（上海廿三日）午后零時五十五分、敵の爆彈南京路新々公司デパート近くに落下し、同行機三百六十二台、戰車も一百台、大砲四百三十門、重機關銃千五百挺に達したソ聯側では武器供給專門技師派遣等の支那援助の代償として支那とシベリヤ鐵道を連絡する鐵道の施設權其他北支に於ける各種特別の權の獲得を要求するものである

（上海廿三日）午后零時五十五分、敵の爆彈南京路新々公司デパート近くに落下し、同行機高空より先施及平安公司附近に爆彈を投下、死者二百餘、負傷者二百餘生ぜり

一、日本飛行機が爆彈を以て同方面を飛行することは嚴禁せられあり、且つ一彈は猛彈にして支那飛行機なること工部局でも証明せられたり

（上海廿二日）午后三時十五分海軍武官室發表

一、本日午后零時五十五分敵飛行機高空より先施及平安公司附近に爆彈を投下、死者二百餘、負傷者二百餘生ぜり

一、日本飛行機が爆彈を以て同方面を飛行することは嚴禁せられあり、且つ一彈は猛彈にして支那飛行機なること工部局でも証明せられたり

（モスコー二十三日）英國太平洋問題調査會々長アタ氏は極東視察の旅を終へロンドンに立寄りソビエット太平洋問題調査會々長モチトルと會見したが極東の事態につき新聞記者團に左の如く語つた

今回の事變勃發に先立ち國民政府と中國共產黨の間に或種の紳士協定が成立してゐるらしく之に基き共產黨は國民政府が對日戰を續行する間は休戰を約し國民政府は共產黨に對し武器彈藥を給供した、內蒙の入口といふべき南口の戰鬪には未だ共產黨は參加してゐない模

國民政府——共產黨と提携

我艦の碇泊地移動を

英米佛共同要請

（上海二十三日）二十三日午に移轉されたき旨を叮重に申前英米佛三艦隊長官は長谷川長官に共同署名の文書を以て日本軍艦のでい泊地を虹口司令官に共同署名の文書を以て日本軍艦のでい泊地を虹口リーク河口以東の黃浦江下流附添百人位は行く事となると思はれるが、自分は無論行く積りだ

因にマルチンス・メイラ中佐は給油船バライバの副長でロスアンゼルス、伯林のオリンピックにはブラジル選手團を統率して行つたこの道の古武者で海軍部內有數の親日家であるが、サルダーニヤ・デ・マリーニヨ號は先年伊太利で建造された最新式の練習船で

伯國海軍練習船

"サルダーニヤ・デ・マリーニヨ號"

日本を訪れる？

マルチンス・メイラ中佐語る

伯國海軍部內の親日氣分はつまり憧憬する日本海軍を通じての——今にはじまつたものでは無く隨分古いものでその現れは今から三十年前の練習船ペンジヤミン・コンスタンテ號の訪日にはじまり最近年のスポーツ聯盟の齊藤巍洋コーチ招聘で急角度に進展して來たものであるが、最近この伯國海軍が最新式の練習船サルダーニヤ・デ・マリーニヨ號を海國日本に送ると言ふ痛快な噂が傳へられセンセーションを捲きおこそうとして居る

記者は右噂をもたらして海軍少壯將校中の切れ者、齊藤コーチ招聘の首唱者であり擁護者であつた中佐マルチンス・メイラ氏をスポーツ聯盟の本部に訪問してその眞相を質すと中佐は語る

その噂は萬更根底のない譯ではない、目下海軍の將校連が來年のはじめ行はれる練習船サルダーニヤ・マリーニヨ號の習利訪問を日本訪問に延長す可しと言ふ建言を海軍大臣にいたして居るからだ、勿論日本訪問は惹いて世界周航と言ふ事實の實現を見る事とならうがわが海軍は千九百二十二年の日本練習艦隊の訪伯に對する答禮の意味もあり、また世界最强の日本海軍を實地に見る必要もある譯で練習船の日本訪問は絕對に必要だ、またこの事實は日伯友交關係强化に多大の貢獻をなすものと考へる

果してサルダーニヤ號の訪日が實現されるとせば同號の日本訪問は來年櫻の頃と思はれる

中佐は此處で話題を轉じ海軍一スポーツマン・シップを發揮してオリンピック論を一席逸べ立てた後「オリンピック東京開催には自分も多少盡力したものだ」と前置きして更に語る

丁度伯林に着いてから間も無く大使館の三浦君から是非共東京開催に投票する樣

行けば櫻の頃と

外務省通譯生

現地で採用

近時母國の貿易進展に伴つて西亜語を始め露、支、蘭語修得者で留學生の應募が減少した爲に母國內で留學生の優秀者を求める事は困難となつた關係上、在外公館の雇傭員中から優秀者を選び外務省通譯生として現地で採用する事となつた

該通譯生は各官廳の推薦で外務省から送附して來る試驗問題に依りて試驗されそれを通過せし者は通譯生資格を得るが通譯生は見習のため暫し本省で勤務せねばならぬ筈

大會球場決定す

來る九月四、五兩日擧行される全伯邦人野球大會球場は委員側で適當な場所を選定中であつたがポンテ・ビケーノ區域ロドルフ・ミランダ街のカマバテンテの球場に決定した右球場に行くにはポンテ・グランデ行電車に乘り、ポンテ・グランデの手前で降

モザイク

グワランベス青年會では來る二十九日グワランベス市劇場で第一回辯論大會を開催する筈であるが、この大會に依り同管內の青年會の大同團結を

期し同時に汎ノロエステ青年聯盟の結成を促す準備運動をし度いと

當大會は懸賞辯論大會とし、一人五分間を限度として一等から五等迄賞品を授與する

▲第一ありあんさでは去る十一十二兩日第三ありあんさでは十一、十二兩日に亘り、それ

Noticias de S. Paulo

DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCRO KOWYAMA
PROPRIETARIO

Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
Rua Assembléa No. 16
SÃO PAULO – BRASIL

ASSIGNATURAS
Anno - - - - - 30$000
Semestre - - - 15$000
Numero do dia - - $500
Exterior, anno - - 60$000

渡伯移民

五七八名

去る八月廿日神戸を出帆したさんとす丸は來る十月二日サントス入港の豫定であるが八十七家族五百七十八名の移民を輸送するものでその內譯は家族移民七一家族四六〇名夫婦〃九〃二五名單獨〃四名呼寄〃十二名

さんとす丸

りれば良い

バ線未曾有の盛況

タンキ植民地の大相撲

▼出場力士六十余名

去る八月七日パウリスタ線ジンブレート、コリーナ、オリヤボチカバール驛タンキ植民地に於ては「若の森」事坂本安太郎氏の引退大相撲が同植民地一同後援のもとに盛大に擧行された

當日は一点の雲もなき快晴で近隣の植民地は勿論遠くはモーカ、東京植民地、リベロ

同伴初渡航 八名
再渡航 十五名
內割當外 十名
移住組合 七家族 五四名
合計 八七家族五七八名

割當內十四歲未滿二三二名右輸送監督は山里敬造氏で次力士「若の森」最后の土俵入をなし相手の九州山を見事寄切つて大勝すれば萬雷の拍手の中に思出深き廿年の土俵を名殘りに引退した、それより古豪新鋭入り亂れての番組、三役に東西大關の相撲を終へた時既に六時過ぎで同驛地方空前の盛會裡に幕を閉ぢた當日の主なる番組は

東 濱ノ石
關脇九州山 カブリユバ
小結若ノ浦 荒木山
一ツ岩 田中山
今嵐 走水川
若勇 阿武川
若櫻 三吹山
肥後櫻 西ノ森
龍ケ峯 大ノ里
長州山 若勇
福田山 岡ノ森
電 岡ノ川
川原石 村ノ川

金と子供は

ドッチが重寶か

圖太い男と孫の親

バストス移住地在住亀岡八郎氏——假名—娘濱子（二四）—假名それから約七年男との間には——は八年前、出前吉次—假名三人の子供まで出來たが、男は昨年四月に妻子を捨てゝ或る人妻と手に手を取つて家出をしてしまつたが、その男は

てしまつた

それから約七年男との間には三人の子供の中一人を連れて歸るから呉れと圖々しくも便りして來たが黑田は一人は駄目だ、三人共やる、それと同時に一ケ年間の養育料を持參して來いと返信したが、養育料の件で一向にケリが着かず黑田は業を煮やしどうしたら良いだらうと總領事館へその方法を知らしてくれと依賴して來たが籍もないと言ふ子供達三人が可愛相である

を落ちつけた

處が昨年九月頃、出前は黑田宛に手紙で自分は日本へ歸るから三人の子供の中一人を連れて歸るから呉れと圖々しくも便りして來たが黑田は一人は駄目だ、三人共やる、それと同時に一ケ年間の養育料を持參して來いと返信したが、養育料の件で一向にケリが着かず黑田は業を煮やしどうしたら良いだらうと總領事館へその方法を知らしてくれと依賴して來たが籍もないと言ふ子供達三人が可愛相である

▲ビリグキ驛カフエーランジヤ

▲ビネイロスのカ・ナカオ化學工業株式會社では棉花用肥料

▲柔劍道聯盟の全伯大會出場申込みは去る二十日迄以後は絕對受け付けぬと委員側では頑張つてゐたが餘り申込み少いものだから大會前日から當日までは申込み受け付けますと言つてゐる

家出後四、五日してから濱子宛離緣狀を送つた爲濱子は途方に暮れ親の亀岡宅に一時身

全伯邦人陸上競技大會役員

▲審判長君塚愼▲總務法華▲競技進行員鈴木▲場內司令溝部、東後▲出發合圖藤平▲表彰員小林、山崎（貞）御厨▲監察員扇浦、濱田、西澤、塚本、木村博▲跳躍審判長井上（清）▲跳躍審判柳澤、井上▲投擲審判員深谷、高泉▲決勝審判海老谷、吉田（弟）成富、田代、本郷榛葉（弟）衣川▲時計員加藤、仁居、木村（威）、高橋（誠）、平田▲記錄員島山、小菅、江澤、久保、近澤▲通告員內山、高橋▲競技進行補助員河添、宮本

U. Ieiri
DENTISTA
Est. Caixa 2765
O. N. B.

齒科醫 家入卯平
カフエランヂヤ町

親切、叮嚀、寢心地の良い
村井館
館主 村井藤一
ヴエラクルス町日本人郵便物取扱所の隣

親切二叮嚀

道案內
驛より右二筋目を下り四ツ辻を四ツ角四百米突、御食事は日本人向。御出市の節は是非御立寄り一眼病御治療には定評ある當市專門醫の診療を御勸めします
カンピーナスコスタ、アギアール街四二二
荒巻旅館 荒巻寅吉

日の丸
高等御旅館
和洋御料亭
數名の女給サービス
パウルー市

一躍スバラシイ寫眞家となつて活躍出來ます
規則書進呈
ノロ線リンス驛郵函一八六
公認ブラ寫眞學校
男子でも女子でも寫眞上手になりたい人は何處までも責任を以て敬へ本校で三ケ月學べば

Casa Honda
日本品雜貨
本田商店
本田授
グワヤサーラ驛郵函四七

聖市日本病院建設寄附者芳名並金額
（第七十二回發表の續き）
▲パウリスタ延長線マリヤ驛公榮植民地二區（各全額拂込濟）
五〇〇錢宛 木原勇造、力丸亀儀
四〇〇錢宛 安田龍、芳賀尊
三五錢 濱田喜四郎
三〇錢宛 三浦富作、中岡萬吉
二五錢 細谷金太郎
二〇錢 金本幸
一〇錢宛 三浦金太郎、山本廣、芳賀好盛
八錢 中谷米吉
五錢宛 石崎研造、清岡正雄
赤木德治、高森辰彥、金本峯雄
二錢宛 赤木作市、本間三男
▲同驛公榮植民地第一區
六〇錢 小橋織之介（內拂込濟三〇錢）
五〇錢宛 福原末松、岩川嘉兵衛、高瀨千一（內拂込濟二五錢）
四〇錢 佐藤一（內拂込濟二〇錢）
三〇錢 小島一信（內拂込濟一五錢）
二〇錢宛 戶田京藏、山本政雄（內拂込濟一〇錢）
▲同驛公榮植民地四區
五〇錢宛 森川定一、兒玉宗三郎
三〇錢 江川榮一
二〇錢 梶山清春
一五錢宛 青木熊喜、青木子之作
一〇錢宛 高山正、高山淺太
青木義明 森脇九一、川口久太郎
▲ソロカバナ線ボレビー驛ゆニモンソン植民地
各全額拂込濟
二〇錢宛 杉本末彥、森好行
門田壽喜 宮城源次、芝野朝彥
一五錢宛 大竹清德
五錢宛 原田種二、中田五兵衛、無名氏、齊藤孝次郎、千葉雄太郎
▲同驛サンタ・クルーズ・ダボアヴィスタ植民地
全額拂込濟
一〇〇錢 日本人會
三〇錢 熊谷清
二〇錢 加納一意
一五錢 吉田繁
一〇錢 酒井平次
▲パウリスタ線パウルー驛セードロ植民地
五〇錢 金城善助（全額拂込濟）
▲同驛中央パタリヤ植民地
八〇錢 南澤紋吉（全額拂込濟）
▲同線マリヤ驛
二〇〇錢 伊原太平（全額拂込濟）
▲ノロエステ線カフエランジヤ驛カンパラ耕地
各全額拂込濟
一〇〇錢 山田駒造
六〇錢 姫野藤次
五〇錢宛 繩手敏規、佐藤源吾
三〇錢宛 島新吾、大庭延由
雅樂川源左
二〇錢宛 西部年成、山川久次郎、山口鶴吉、日野明志、中戶多三郎
一〇錢宛 青木千次郎、安谷屋長孝、江上精治
五錢宛 棚橋吉四郎、安谷屋興亀、王邦覇義雄、河田榮太郎、王邦覇山、竹原丑太郎
▲マリリア驛アルピンデード植民地（各全額拂込濟）
一〇〇錢宛 伊波寬光、和田
▲同驛公榮植民地（各全額拂込濟）
五〇錢宛 市谷芳太郎
三〇錢宛 仲眞良亀
一〇錢宛 山城盛喜、稻嶺良善、長嶺由牛、與那嶺貞助
仲眞松金、上野琴治、廣田福夫、丹羽實次、渡邊文吉、與那城米久助
一五錢 丹羽勳治
一〇錢宛 與那嶺誠榮、赤嶺
五錢宛 二川市太郎、平井清
榮松宮市、久世榮吉
小計伯貨拾八コントス四百九拾九百レース也
（內拂込濟九コントス五百四拾五錢四百レース也）
リベロン・プレツト地方委員會扱
▲サンパウロ・ミナス線セーラアズール驛セパスチヨン耕地（各全額拂込濟）
一〇錢 坂本愛藏
一〇錢 赤星進
五錢 佐藤清助
▲モヂアナ線サン・シモン驛
五〇錢 中村彥次郎
▲同線フラーカ驛
三四錢 志水茂太郎
▲同線ウベラバ市
五〇錢 佐野時太郎
二〇〇錢 西村基
〇錢宛 川畑常太郎、松北敬次
▲同線クラビンニヨス驛
三〇錢宛 敎仙清、敎仙勇、
二〇錢宛 清水勇吉、寺園時夫
一〇錢 伊敷公英
五錢 岡崎稔雄
小計伯貨五百四錢レース也拂濟
▲サンパウロ地方委員會扱
一〇〇錢 林田久七
五〇錢 田中重夫
三〇錢 比嘉德松
一〇錢宛 仲本牛、仲間良能
佐藤啓次郎
五錢 久場久藏
▲セントラル線スザノ驛
一〇〇錢 瀧井康民（內拂込濟三〇錢）
▲ソロカバナ線プレシデンテ
ヴエンセスラウ驛
各全額拂込濟
二〇錢宛 杉本好太郎、國武晴男、廣田嘉作、中村貞一、齊藤武夫
▲同驛パストス第三モンテイロ
五〇〇錢 加治屋軍治（內拂込濟一五〇錢）
一〇〇錢宛 田沼良助、武田安治（內拂込濟三〇錢）
六〇錢宛 堀之內、横田淺吉（內拂込濟二〇錢）
五〇錢宛 伊藤滋、横大路亀吉（內拂込濟二〇錢）
五〇錢 口岩田甚市、岩田隆三、横山哲二（內拂込濟一五錢）
四五錢 河合明（內拂込濟一五錢）
三〇錢 窪田寓（內拂込濟一五錢）
三〇錢宛 西川佐太郎、薙澤乞、小松秋太、宮城安市（內拂込濟一〇錢）
二〇錢宛 澤口市郎、島田三郎（全額拂込濟）
二〇錢宛 吉留善之助、村井米藏（內拂込濟一〇錢）
一五錢宛 谷中正太郎、木村昇、神村守（內拂込濟五錢）
▲同線ランシヤリア驛コンチネンタル植民地（各全額拂込濟）
一〇〇錢宛 石倉重吉、赤星忠太郎、高橋健太郎、霜出郁二
五〇錢宛 菅野馬治、上田正剛、迫紫郎、武藤瀧藏
二〇錢 齊藤平治
▲ランシヤリア町
三〇〇錢 藏力哲夫（內拂込濟一〇〇錢）
二〇〇錢 伊藤新吾（內拂込濟八〇錢）
一五〇錢 澤田敏郎（全額拂込濟）
三〇〇錢 具志堅與喜（內拂込濟二〇錢）
五〇〇錢宛 和氣、大橋徹雄（全額拂込濟）
五〇〇錢宛 村上今雄、小林俊三
三〇〇錢 稻垣久一（內拂込濟二〇錢）
▲ランシヤリア驛ラゴア植民地（各全額拂込濟）
五〇錢 小島米吉
四〇錢 荒木傳
三〇錢 大山定江
二〇錢宛 高橋常吉、原口寬太
一〇錢宛 平坂佐一郎、森龜十郎、川底嵩、太田朝江、池田久夫、小田安次郎、清岡喜代太郎、小口卯吉、村田德太郎、須山梅吉、平井良七、原田仙造
五錢 小野田秀雄
▲同線カラムル驛マルカテ植民地
一五〇錢 原德惠（內拂込濟五〇錢）
一二〇錢 龍神武夫（內拂込濟四〇錢）
一〇〇錢宛 白石定則、細見哲二、加藤芳一（內拂込濟三〇錢）
一〇錢 原稙雄（內拂込濟九〇錢）
七五錢 土井鐵一（內拂込濟三〇錢）
六〇錢宛 古賀伊作、瀧川次雄、小島末雄、田島清喜、岩崎恒雄、市岡健一、村上一雄
中野戒吾（內拂込濟二〇錢）
四〇錢 伊藤舜三（內拂込濟二〇錢）
三〇錢 黑川一郎（全額拂込濟）
三〇錢宛 拙邊政人、吉川昌
古川武夫、花谷榮、門戶完吉
稻本儀虎、大森廣（內拂込濟二〇錢）
一〇錢宛 柳原理一、川口松太郎（全額拂込濟）
▲聖市郊外ジユクリー
一〇〇錢 淺田幸作（全額拂込濟）
▲パウリスタ線ベラクルス驛
六〇錢宛 ガルサ中央處女會（全額拂込濟）
▲同マリリア驛メスキツタ植民地
三五〇錢 南崎金雄（全額拂込濟）
小計伯貨五コントス八百五拾五百レース也
（內拂込濟參コントス參百參拾五錢レース也）
累計伯貨壹千貳百七拾九コント八百九拾參錢六百レース也）
（拂込濟總額六百五拾四コント七百拾壹錢五百レース也）
昭和十二年八月十六日
聖市日本病院建設委員會

齒科醫院
池本亀雄
アララクワラ市アベニーダ サンパウロ一〇一

聖市日本病院建設寄附者芳名並金額
（第七十二回發表の續き）
▲パウリスタ延長線マリヤ驛公榮植民地二區（各全額拂込濟）
五〇錢宛 木原勇造、力丸亀儀
四〇錢宛 安田龍、芳賀尊
三五錢 濱田喜四郎
三〇錢宛 三浦富作、中岡萬吉
二五錢 細谷金太郎
二〇錢 金本幸
一〇錢宛 三浦金太郎、山本廣、芳賀好盛
八錢 中谷米吉
五錢宛 石崎研造、清岡正雄
赤木德治、高森辰彥、金本峯雄
二錢宛 赤木作市、本間三男
▲同驛公榮植民地第一區
六〇錢 小橋織之介（內拂込濟三〇錢）
五〇錢宛 福原末松、岩川嘉兵衛、高瀨千一（內拂込濟二五錢）
四〇錢 佐藤一（內拂込濟二〇錢）
三〇錢 小島一信（內拂込濟一五錢）
二〇錢宛 戶田京藏、山本政雄（內拂込濟一〇錢）
▲同驛公榮植民地四區
五〇錢宛 森川定一、兒玉宗三郎
三〇錢 江川榮一
二〇錢 梶山清春
一五錢宛 青木熊喜、青木子之作
一〇錢宛 高山正、高山淺太
青木義明 森脇九一、川口久太郎
▲ソロカバナ線ボレビー驛ゆニモンソン植民地
各全額拂込濟
二〇錢宛 杉本末彥、森好行
門田壽喜 宮城源次、芝野朝彥
一五錢宛 大竹清德
五錢宛 原田種二、中田五兵衛、無名氏、齊藤孝次郎、千葉雄太郎
▲同驛サンタ・クルーズ・ダボアヴィスタ植民地
全額拂込濟
一〇〇錢 日本人會
三〇錢 熊谷清
二〇錢 加納一意
一五錢 吉田繁
一〇錢 酒井平次
▲パウリスタ線パウルー驛セードロ植民地
五〇錢 金城善助（全額拂込濟）
▲同驛中央パタリヤ植民地
八〇錢 南澤紋吉（全額拂込濟）
▲同線マリヤ驛
二〇〇錢 伊原太平（全額拂込濟）
▲ノロエステ線カフエランジヤ驛カンパラ耕地
各全額拂込濟
一〇〇錢 山田駒造
六〇錢 姫野藤次
五〇錢宛 繩手敏規、佐藤源吾
三〇錢宛 島新吾、大庭延由
雅樂川源左
二〇錢宛 西部年成、山川久次郎、山口鶴吉、日野明志、中戶多三郎
一〇錢宛 青木千次郎、安谷屋長孝、江上精治
五錢宛 棚橋吉四郎、安谷屋興亀、王邦覇義雄、河田榮太郎、王邦覇山、竹原丑太郎
▲マリリア驛アルピンデード植民地（各全額拂込濟）
一〇〇錢宛 伊波寬光、和田
▲同驛公榮植民地（各全額拂込濟）
五〇錢宛 市谷芳太郎
三〇錢宛 仲眞良亀
一〇錢宛 山城盛喜、稻嶺良善、長嶺由牛、與那嶺貞助
仲眞松金、上野琴治、廣田福夫、丹羽實次、渡邊文吉、與那城米久助
一五錢 丹羽勳治
一〇錢宛 與那嶺誠榮、赤嶺
五錢宛 二川市太郎、平井清
榮松宮市、久世榮吉
小計伯貨拾八コントス四百九拾九百レース也
（內拂込濟九コントス五百四拾五錢四百レース也）
リベロン・プレツト地方委員會扱
▲サンパウロ・ミナス線セーラアズール驛セパスチヨン耕地（各全額拂込濟）
一〇錢 坂本愛藏
一〇錢 赤星進
五錢 佐藤清助
▲モヂアナ線サン・シモン驛
五〇錢 中村彥次郎
▲同線フラーカ驛
三四錢 志水茂太郎
▲同線ウベラバ市
五〇錢 佐野時太郎
二〇〇錢 西村基
〇錢宛 川畑常太郎、松北敬次
▲同線クラビンニヨス驛
三〇錢宛 敎仙清、敎仙勇、
二〇錢宛 清水勇吉、寺園時夫
一〇錢 伊敷公英
五錢 岡崎稔雄
小計伯貨五百四錢レース也拂濟
▲サンパウロ地方委員會扱
一〇〇錢 林田久七
五〇錢 田中重夫
三〇錢 比嘉德松
一〇錢宛 仲本牛、仲間良能
佐藤啓次郎
五錢 久場久藏
▲セントラル線スザノ驛
一〇〇錢 瀧井康民（內拂込濟三〇錢）
▲ソロカバナ線プレシデンテ
ヴエンセスラウ驛
各全額拂込濟
二〇錢宛 杉本好太郎、國武晴男、廣田嘉作、中村貞一、齊藤武夫
▲同驛パストス第三モンテイロ
五〇〇錢 加治屋軍治（內拂込濟一五〇錢）
一〇〇錢宛 田沼良助、武田安治（內拂込濟三〇錢）
六〇錢宛 堀之內、横田淺吉（內拂込濟二〇錢）
五〇錢宛 伊藤滋、横大路亀吉（內拂込濟二〇錢）
五〇錢 口岩田甚市、岩田隆三、横山哲二（內拂込濟一五錢）
四五錢 河合明（內拂込濟一五錢）
三〇錢 窪田寓（內拂込濟一五錢）
三〇錢宛 西川佐太郎、薙澤乞、小松秋太、宮城安市（內拂込濟一〇錢）
二〇錢宛 澤口市郎、島田三郎（全額拂込濟）
二〇錢宛 吉留善之助、村井米藏（內拂込濟一〇錢）
一五錢宛 谷中正太郎、木村昇、神村守（內拂込濟五錢）
▲同線ランシヤリア驛コンチネンタル植民地（各全額拂込濟）
一〇〇錢宛 石倉重吉、赤星忠太郎、高橋健太郎、霜出郁二
五〇錢宛 菅野馬治、上田正剛、迫紫郎、武藤瀧藏
二〇錢 齊藤平治
▲ランシヤリア町
三〇〇錢 藏力哲夫（內拂込濟一〇〇錢）
二〇〇錢 伊藤新吾（內拂込濟八〇錢）
一五〇錢 澤田敏郎（全額拂込濟）
三〇〇錢 具志堅與喜（內拂込濟二〇錢）
五〇〇錢宛 和氣、大橋徹雄（全額拂込濟）
五〇錢宛 村上今雄、小林俊三
三〇錢 稻垣久一（內拂込濟二〇錢）
▲ランシヤリア驛ラゴア植民地（各全額拂込濟）
五〇錢 小島米吉
四〇錢 荒木傳
三〇錢 大山定江
二〇錢宛 高橋常吉、原口寬太
一〇錢宛 平坂佐一郎、森龜十郎、川底嵩、太田朝江、池田久夫、小田安次郎、清岡喜代太郎、小口卯吉、村田德太郎、須山梅吉、平井良七、原田仙造
五錢 小野田秀雄
▲同線カラムル驛マルカテ植民地
一五〇錢 原德惠（內拂込濟五〇錢）
一二〇錢 龍神武夫（內拂込濟四〇錢）
一〇〇錢宛 白石定則、細見哲二、加藤芳一（內拂込濟三〇錢）
一〇錢 原稙雄（內拂込濟九〇錢）
七五錢 土井鐵一（內拂込濟三〇錢）
六〇錢宛 古賀伊作、瀧川次雄、小島末雄、田島清喜、岩崎恒雄、市岡健一、村上一雄
中野戒吾（內拂込濟二〇錢）
四〇錢 伊藤舜三（內拂込濟二〇錢）
三〇錢 黑川一郎（全額拂込濟）
三〇錢宛 拙邊政人、吉川昌
古川武夫、花谷榮、門戶完吉
稻本儀虎、大森廣（內拂込濟二〇錢）
一〇錢宛 柳原理一、川口松太郎（全額拂込濟）
▲聖市郊外ジユクリー
一〇〇錢 淺田幸作（全額拂込濟）
▲パウリスタ線ベラクルス驛
六〇錢宛 ガルサ中央處女會（全額拂込濟）
▲同マリリア驛メスキツタ植民地
三五〇錢 南崎金雄（全額拂込濟）
小計伯貨五コントス八百五拾五錢レース也
（內拂込濟參コントス參百參拾五錢レース也）
累計伯貨壹千貳百七拾九コント八百九拾參錢六百レース也）
（拂込濟總額六百五拾四コント七百拾壹錢五百レース也）
昭和十二年八月十六日
聖市日本病院建設委員會

お願ひ
御移轉の御通知には新、舊兩住所を御明記下さい
聖州新報社發送部

阪上健吉
聖市コンセレイロ
フルタード街一八八番
郵函二一七六番